



2005年
(平成17年)
10/25
第1449号

あだち 広報

あだち広報は毎月10日・25日、
ズームアップは6・8・10・1・3月発行

●発行/足立区 ●編集/広報課
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
☎3880-5111(代)
FAX 3880-5610(広報課)
http://www.city.adachi.tokyo.jp/

足立区ホームページ携帯電話
向けサイトへのQRコードです
バーコード読み取り機能付き
携帯電話でご利用になれます



路上喫煙 規制強化へ向けて

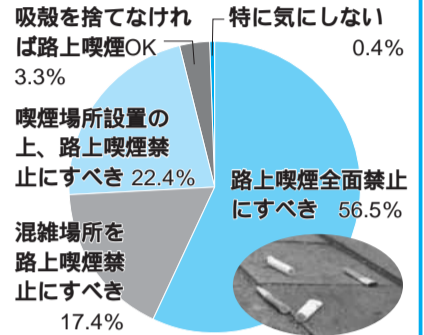


～「足立区まちをきれいにする条例」の
改正を検討しています～



お問い合わせは、
地域活動支援係 ☎3880 - 5856

図1 対面式アンケート結果
問 路上における喫煙行為
についてどう思いますか？



【タバコがもたらす危険性と不快感】

- ・ポイ捨てによるぼや
- ・すれ違いざまの火傷
- ・衣服の焼け焦げ
- ・受動喫煙による健康被害
- ・煙やにおいによる不快感

罰則も含めた規制

今、路上には、タバコの吸い殻が当たり前のようになり、落ち、混雑した駅前などでも、平然とタバコを吸い続ける人をよく見かけます。こうした行為は、まちを汚すことになるだけでなく、多くの危険をはらんでいます。区では今まで、歩行中の喫煙については、足立区まちをきれいにする条例（以下、条例）で、しないよう努めなければならぬこととしていました。しかし残念ながら、この条例の改正を考えた場合に、条例の改正案を策定中です。

10年4月、まちが汚いという切実な声をきっかけに、条例が施行されました。以来、ごみのポイ捨ておよび犬のふんの放置が禁止され、歩きながらの喫煙については自粛をお願いしています。最近では、健康増進法の施行もあり、他人の煙による健康被害に対する関心が高まっています。また、路上での喫煙による衣服の焼け焦げや火傷の被害などの声が、区民の方から数多く届くようになりました。こうした声を受け、昨年、まちの美化推進および条例の周知のため、「美化ピカ隊」を結成し、「一人ひとりのマナーとモラルの向上」を訴えてきました。しかし、残念ながら大きな効果は得られませんでした。また、今年2月から3月にかけて、美化ピカ隊が区内で500人に対して行った対面式アンケートの結果でも、皆さんが路上喫煙について、厳しい対応を希望していることがわかりました（図1）。

今号の主な内容

- 2・3面：保健福祉ガイド
- 4・5面：歯みがきで、口の中さっぱり!!
- 6・7面：くらしのガイド/催し物ガイド/安全・安心なまち
- 8面：明るく活力ある超高齢化社会を築くために

情報キャッチ!!

好きであ、あだち
11月14日～20日
午前9時30分/午後0時30分/午後6時
ケーブルTV足立(9CH)

足立区長 鈴木恒年

条例改正案の内容

- < 現行 >
歩行喫煙の自粛（努力義務）
- < 改正案 >
・道路上での喫煙禁止
・公共の場所での歩行喫煙禁止
・特定区域内罰則適用（過料）

「パブリックコメント」
たくさんのご意見あり
がとうございました

区では、今回の条例改正に向けて、皆さんから広く意見をいただくため、10月1日から21日までの期間、パブリックコメントを行いました。たくさんのご意見、ありがとうございます。

犬を飼っている方へ

ペットブームの影響もあり、犬を飼う人が大変増えました。しかし、飼い主の中には犬のふんを平気で放置していく人がいます。ペットを可愛がるばかりではなく、ふんなどの処理もきちんとし、他人に迷惑を掛けないことも大切なことです。



犬のふん放置禁止!

第3回環境・美化推進ポスターコンクール最優秀賞受賞者発表

表1 ポスターコンクール最優秀賞

部門	小学校の部	中学校の部
美化	高橋亮太さん (関原小 5年)	榮美樹さん (蒲原中 3年)
リサイクル	岡田健太郎さん (島根小 6年)	金井春香さん (蒲原中 3年)
環境		福久彩香さん (蒲原中 3年)

「門掃き」支援事業に新たに事業所が仲間入り ～私たちがまちをきれいにします～

リコー販売株式会社 / 株式会社首都圏環境美化センター / 株式会社巧文社 / 株式会社ヨシオ / 株式会社鈴木塗装工務店 / 三祐医科工業株式会社 / アダマンド工業株式会社 / シーレックス株式会社東京工場 / 株式会社飯島ポンプ製作所(申請順)

「笑いのあるまち」



足立区

今年も区内の秋祭りはとても盛大でした。12年に一度という大祭もありました。祭りは、その本来の目的と共に、地域の人と人のつながりを深める効果もあります。今年も100人もの中学生が参加した祭りもあつたようです。私の地元でも、大勢の子どもたちが、元気に祭りに参加している姿を見掛けました。子どもたちの笑い声を聞くと、とても幸せな気持ちになります。「笑いのあるまち」はとても魅力的なまちだと思います。

最近では、「笑い」の効用が少しずつ明らかにされてきています。「免疫力を高める」「血行を促進する」「ストレスを解消する」「ひらめきを与える」「コミュニケーションを円滑にする」(日本ウエルネス協会)「快笑5つの効用」。笑いには、私たちが思っている以上の効用があるようです。

私は落語が好きで、今でもときどき寄席に通っています。落語の世界では、貧しい生活の中にも笑いがあり、それが互いに支え合って生きる力になっているように思います。笑いのある家庭、地域、学校、職場であつてこそ、人は生き生きと過ごすことができます。

秋祭りを彩る地口行灯には、洒落のセンスに思わず笑ってしまうものがありました。昔も今も笑いのある足立区。今後も、皆さんが大いに笑って元気でいられる区政をめざしていきます。